

# 農作物特報

令和5年8月25日

魚津市  
魚津市農業技術者協議会

「コシヒカリ」の登熟期間が高温多照で推移し、黄化の進みが平年以上に早く、成熟期は平年（9月9日）より3日程度早めの9月6日頃とみられます。

また、胴割米の発生が懸念されることから、ほ場ごとの穀の黄化状況や気象情報をこまめに確認し、適期内の刈取りに努めてください。

## 水管管理

- ・収穫の5～7日前まで間断かん水を行いましょう。
- ・フェーン現象が予想される場合は、事前に入水しましょう。

## 刈取り

## 1 適期刈取り

コシヒカリは、「穀黄化率80%」（右図参照）を目安に刈取りを始めましょう。

## 【刈取り開始時期の目安】（平坦地）

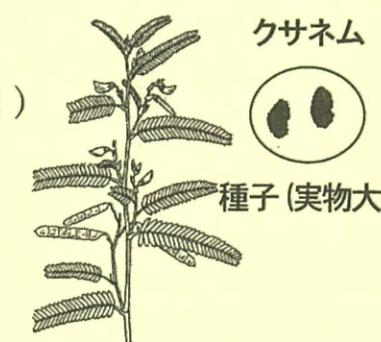
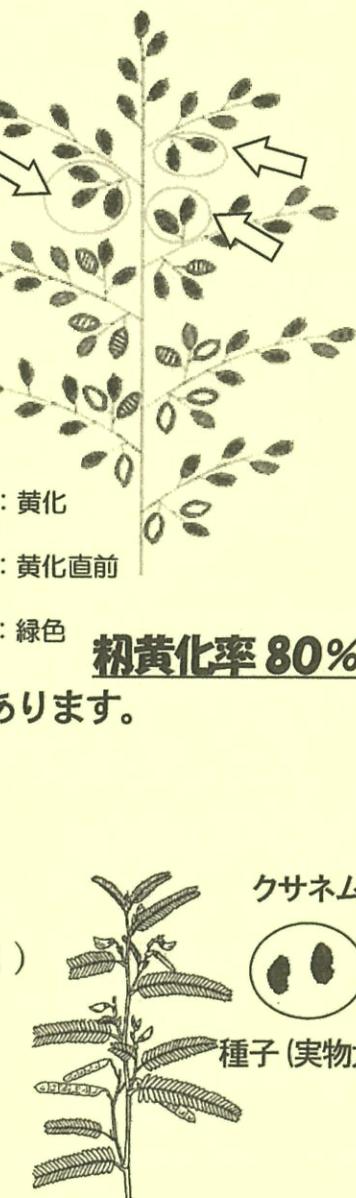
出穂時期	刈取り開始日
7月28日頃	⇒ 9月 2日頃
7月31日頃	⇒ 9月 5日頃
8月 3日頃	⇒ 9月 8日頃

※今後の気象経過によって、刈取り時期が変わる可能性があります。

刈取適期票の表示などを参考に刈取り日を決めましょう。

## 2 玄米への異物混入の防止

- ①刈取りの前に必ずクサネムなどの雑草は抜き取る。  
(クサネムの種子は色彩選別機でしか取り除けません！)
- ②事前に畦畔周辺をまわり、ペットボトルなどの異物が落ちていないか確認してください。
- ③隅刈りの稻株から小石が混入しないように注意しましょう。



## 乾燥

～玄米水分は14.5～15.0%に仕上げる～

## 1 ヤケ米の発生防止

刈取り後、4時間以内に乾燥機へ張り込み、送風する。

## 2 脊割米の発生防止 ～急激な乾燥は厳禁～

乾燥速度は0.8%/hr以内としますが、張り込み時の穀水分が20%未満の場合は、0.6%/hrに設定してください。

また、穀水分が25%以上の場合は、張り込み後、2～3時間常温で通風してから、基準温度より5℃低く設定して乾燥しましょう。

## 3 過乾燥米（玄米水分14.0%未満）の発生防止！

- ①玄米水分が17%以下になったら、自動水分計とあわせて、手持ちの水分計でこまめに測定しましょう（15～20分間隔）。
- ②青米の混入割合（下表を参照）に応じて、乾燥機の停止水分を設定する。

## 【乾燥機の停止水分の目安】

100粒中の青米粒数	乾燥機の停止水分	乾燥機停止後の水分の変化
0～5粒	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)

③玄米水分が高く、再度乾燥する場合は、低温（室温+5℃）で行い、手持ちの水分計で測定をして仕上げましょう。

## 調製・出荷

## 1 肌ずれ、モミ混入の防止

穀の温度を十分に冷まし、全体の水分を均一にしてから、穀摺りを行ってください。

## 2 くず米・未熟米の完全除去

1. 9mmのふるい目を使用するとともに、選別機の能力に応じた適正流量を厳守して、選別を徹底しましょう。

## 3 紙袋込み重量で30.5kgとし、過不足がないようにしましょう！

## 4 栽培管理記録とGAPチェック票を、出荷申込み時に提出してください。

## 秋の農作業安全運動展開中：8月20日～10月20日

コンバインによる刈取作業中の事故などに注意するとともに、帽子や吸汗速乾性の衣服着用や適度な休憩、水分補給で「熱中症」を防止しましょう！



チェック!!